



FERRIS  
UNIVERSITY

フェリス女学院大学  
私費留学生サポート



---

フェリス女学院大学では、<sup>しひりゅうがくせい</sup>私費留学生のほか、<sup>かくきょうていこう</sup>アジア、ヨーロッパ、北米にある各協定校からの<sup>こうかんりゅうがくせい</sup>交換留学生もあわせて約40～50名ほどの留学生が学んでいます。

国際センターが中心となり、留学生一人一人の状況を理解し、<sup>しえん</sup>学生生活を支援しています。

## 目次

1.留学生から見た「フェリス」って、どんな学校？	2
2.学習支援	4
3.経済支援	5
4.就職支援	9
5.交流	10



# 1. 留学生から見た「フェリス」って、どんな学校？

フェリス女学院大学で学ぶ留学生の声をまとめました。

## 交流の機会が沢山ある

留学生との交流を望んでいる日本人学生、明るく積極的にフレンドリーな学生が多いフェリス。すぐに日本人の友達がたくさんできます。留学生だけで固まることはほとんどありません！

(韓国人留学生)

## 他学科の授業も取れる

自分の学部・学科以外の色々な分野の専門の授業を受けることができます。自分の興味や関心があることを幅広く勉強できます。

(中国人留学生)

## 歴史と伝統のある学校

創立は1870年、2020年に150周年を迎えます。日本で最初に設立された女子教育機関で学ぶこと…それは学ぶ安心感と誇りにつながります。

(中国人留学生)

## 充実した奨学金制度

奨学金制度が充実しています。授業料は国公立と同じくらいです。おかげでアルバイトに時間をとられず、クラブや様々な学内活動に参加できます。

(中国人留学生)

## 少人数教育

教員と学生との距離が近く、一人一人しっかり見てもらえます。授業はクラス内での対話を重視していて、約7割の授業が30名未満で行われています。

(中国人留学生)

## 手厚い支援

フェリスの教員や職員は、留学生の名前を覚えて声をかけてくれます。小規模な学校だからこそ可能な、きめ細やかなサポートが受けられます。

(韓国人留学生)

## その他 知ってほしいフェリスの魅力！

- きめ細やかな就職支援。90%以上の就職内定率。
- 日本語・英語その他の語学教育プログラムが充実。
- キャンパスは緑豊かな国際都市、「横浜」にある。
- ボランティア活動やインターンシップなど課外活動の機会が多く、自分に合ったものに取り組みやすい。
- 図書館、体育館など学内の設備が充実している。
- ノートパソコンの無料貸し出しや無料で印刷できる仕組みがあり、学内のどこにいても学習できる。



留学生へのインタビュー風景



入学してから1年間、同じ学科の先輩が「メンター」として一人一人につき、大学生活をサポートしてくれます。

授業やレポートが難しいと感じたら、同じ授業を受けている日本人学生と一緒に勉強し、支援を受けられるチューター制度があります。希望すれば誰でも利用できます。

日本文化体験プログラム  
さどうたいけん きつけたいけん  
茶道体験、着付体験  
かどうたいけん など  
華道体験 など  
¥500～¥1,000程度で参加できます！

留学生が日本人学生と一緒に広島、岡山を旅行しながら平和について学ぶ、ジャパNSTADYーツアーを1毎年実施しています！  
費用は大学から補助があり、約半額で参加できます。

日本人の学生が共同生活を支援してくれる寮もあり、留学生は全員寮費の補助を受けることができます。  
月額約50,000円。



## 「女子大」ってどんな感じ？

入学前は、女子だけの学校ってどんな感じなのか想像がつかない、心配に思っている留学生もいると思います。しかしフェリスに入学した留学生たちは、「みんな優しく、親切で、すぐに友達ができ、安心できる環境」だと話してくれます。

また、いろんなことにチャレンジしている活発な学生が多いです。周りの学生たちから刺激を受け、留学生も勉強だけでなく、サークルや部活、インターンシップ、ボランティア活動などに関わっています。「このような勉強以外の経験を通して、卒業後に仕事をする上で役に立つ力が身に付いた」との声をよく聞きます。

## 2. 学習支援

私費留学生の学修生活をより充実したものとするため、次のように支援しています。

### 留学生対象科目

大学での学びには、高度な日本語の運用能力が必要です。そのため、留学生が授業を理解し学びを深められるように「日本語科目」や、日本に対する理解を深めるための「日本事情に関する科目」を用意しています。授業はすべてそれぞれのレベルに合わせて少人数のクラスで行われています。

授業科目例

(2021年度参考)

授業科目名	内 容
大学で学ぶ日本語 I・II	レポート作成の基礎
	講義と発表の聴解・ノートテイキング
	発表演習
	読解ストラテジー
	アカデミックライティング
	上級口頭表現
	ライティング演習
	プレゼンテーション
	論文作成演習
	総合日本語
日本事情A・B	日本事情・日本文化を教える
	歴史から学ぶ日本
	文化、社会について考える
	日本の映画：現代社会と私を考える

### アカデミック・アドバイザー

教員がみなさん一人一人を担当し、授業の選び方から勉強方法など、学習全般のことをいつでも相談に乗ります。みなさんが所属する学科の教員が担当するので、基本的なことだけでなく、将来の進路や専門的なことまで幅広く相談できます。

### チューター

同じ授業を受けている日本人学生が皆さんの学習を定期的に支援します。毎週決まった時間に一緒に勉強し、先生の説明でわからなかったところを確認したり、レポートや試験の準備をします。

チューター学生は、例えば、カタカナの固有名詞や抽象的な概念のように、留学生にはわかりづらいところを平易な表現に置き換えるなどして、理解を助けています。

希望すれば誰でも利用することができます。また日本人学生と交流を深める機会ともなります。

### 3. 経済支援

#### 私費留学生授業料等減免制度

本学では、私費留学生の経済的負担を軽減し、学習に集中できるように支援することを目的として、授業料や施設設備費を減免する制度を用意しています。

学年	選考方法	成績基準 (GPA※)	自宅外通学者	自宅通学者
入学時	書類審査 面接	なし	授業料 50%減免 施設設備費 50%減免	授業料 50%減免 施設設備費 30%減免
2年次以降	書類審査 面接 成績	2.10以上	授業料 50%減免 施設設備費 50%減免	授業料 50%減免 施設設備費 30%減免
		1.31以上	授業料 30%減免 施設設備費 50%減免	授業料 30%減免 施設設備費 30%減免

※GPAとは、1単位あたりの成績の平均を示すもので、成績評価ごとのポイント（S：4、A：3、B：2、C：1、不合格：0）を単位数で割って算出します。選考では、入学してからの「通算のGPA」を対象とします。例：すべての成績が「B」だった場合、GPAは「2.00」となります。

#### 授業料等減免申請の流れ

入学時（入学年度前期）から減免の適用を希望する場合：

入学試験とは別に「申請書類の提出」と「選考面接受験」が必要です。次の1と2は合格発表前から準備していただき、合格者発表後、3以降の手続きをしていただきます。

#### 【合格発表前】

##### 1 条件を確認する

- (1) 在留資格が「留学」であること。入学までに変更できる者を含みます。  
\*大学院の合格者は、在留資格が「家族滞在」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」に該当する者も申請できます。
- (2) 主たる家計支持者の年収が600万円未満であること。



##### 2 申請書類を準備する

- (1) 授業料等減免申請書（所定様式）
- (2) 誓約書
- (3) 主たる家計支持者の2020年度の①収入、②納税額を証明する書類
- (4) 在留カードのコピー（表・裏）

## 【合格発表後】

### 3 選考面接を予約する

【予約方法】 予約用フォーム（Google form）から希望の日時を選択し登録する。  
【予約期限】 合格発表日の1～3日後（入試種別ごとに設定）

### 4 申請書類を提出する

【提出方法】 ①郵送 ②直接大学へ持ってくる

### 5 選考面接を受ける

【結果発表】 選考結果は、原則として選考面接の当日にお伝えします。

### 6 学生納付金を納入する

本学指定の「入学手続時納付金振込用紙（減免適用）」を使って、  
減免された額の「入学手続時納付総額」を期限までに納入する（大学指定の口座に振り込む）。

【期限】 入学手続期間の最終日（窓口取扱時間は金融機関によって異なるので注意すること）

#### 【注意】

- ①期限までに納入手続が行われないと、入学の意思がないものとみなし、入学を許可しません。
- ②納入とあわせて、期限までに済ませないといけない手続もあります（書類の提出等）。

## 授業料減免の適用基準について

### ① 実績

基準を充足している申請者はすべて採用されています。

### ② 入学翌年度以降

学内の規定により、学業成績（GPA2.10以上）及び主たる家計支持者の年収（600万円未満）に基づき、申請書類の審査及び面接が行われます。この選考の上、適用の可否を決定します。

【参考】

がくせい のうふきん ねんかん のうふがく  
**学部1年次生の学生納付金年間納付額**  
 じたくがいつう がくしゃ ふぼ とうほしょうにん げんじゅうしょ こと ひと  
 自宅外通学者（父母等保証人と 現住所 が異なる人）の場合

		通常 納入額	減免が適用された後の 納入額
文学部	英語英米文学科 日本語日本文学科 コミュニケーション学科	年間 1,131,300円	年間 576,300円
国際交流学部	国際交流学科		
音楽学部	音楽芸術学科	年間 1,337,800円	年間 684,550円

- \* 入学時のみ、上記のほかに入学金200,000円がかかります。
- \* 自宅通学者（父母等保証人と 現住所 が同じ人）の場合、減免率が変わります。

しひりゅうがくせいしょうがくきん

## 私費留学生奨学金

がくしゅうしょうれい しきゅう へんかん ひつよう きゅうふがた しょうがくきん  
 学習奨励を目的とした奨学金を支給しています。返還の必要のない給付型の奨学金です。

しきゅうがく  
 1年次前期以降の学業成績によって支給額が決まります。

たいざい はいぐうしゃ はいぐうしゃ  
 在留資格が「留学」のみでなく、「家族滞在」（「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「  
 ていじゅうしゃ  
 定住者」）の留学生も出願できます。

学年	成績基準 (GPA)	給付内容	
		自宅外通学者	自宅通学者
1年次後期	2.01以上	10,000円× 5回	10,000円× 5回
2年次以降	3.10以上	35,000円×10回	
	2.60以上	20,000円×10回	15,000円×10回
	2.01以上	10,000円×10回	10,000円×10回

⇒申請資格については、直接国際課にお問い合わせください。



## フェリス以外の奨学金学校推薦枠 (2021年度参考)

「推薦枠」とは、学外の奨学金申請にフェリスから推薦できる留学生の「人数」のことです。  
推薦条件を充足し、大学から推薦を受けられても、必ず採択されるとは限りません。

奨学金	金額	大学推薦枠	実績
もんぶかがくしょうがくしゅうしょうれいひ 文部科学省学習奨励費 とくべつつかさいよう (コロナ特別追加採用)	学 部：月額 48,000円 大学院：月額 48,000円 (※1ヶ月分のみの支給)	学部 8名	学部8名
ちょうせんしょうがくかいしょうがくきん 朝鮮奨学会奨学金 ※韓国・朝鮮籍のみ	学 部： 月額25,000円 大学院(修士)：月額40,000円 大学院(博士)：月額70,000円	学部 1名 大学院1名	—
よねやましょうがくせい ロータリー 米山奨学生	学 部：月額100,000円 大学院：月額140,000円	1名	学部2名
へいわなかしまざいだんがいこくじんりゅうがくせい 平和中島財団外国人留学生 奨学生	学 部：月額100,000円 大学院：月額100,000円	学部 1名 大学院1名	(2016年度は 大学院1名)
きょうりつこくさいこうりゅうしょうがくざいだん 共立国際交流奨学財団 / (株)共立メンテナンス奨学基金	学 部：月額 60,000円 学部・大学院： 月額100,000円	学部 1名 大学院1名	—
さいとうきよこ 齋藤清子オーリーブ奨学金	学 部：月額 50,000円 大学院：月額 65,000円	学部 2名 大学院1名	学部2名

フェリスの奨学金制度は非常に充実しているので、私費留学生はほぼ全員、何らかの奨学金を受給しています。アルバイトの時間を減らし、学業や課外活動に集中できるので、よい成績をおさめる留学生が多いです。

## 奨学金受給例



Aさん(4年生)の場合：

**年間800,000円**を受給。

学外奨学金： 月50,000円×12か月

フェリスの奨学金：月20,000円×10か月



Bさん(4年生)の場合：

**年間1,200,000円**を受給。

学外奨学金： 月100,000円×12か月



## 4. 就職支援

留学生の皆さんは、大きな夢や目標をもって日本に来られたと思います。「日本語と母語を使い、両国のかけ橋になりたい」「日本で働きたい」という声を聞きます。

そこでフェリス女学院大学では、次のようなプログラムを充実させ、将来を考えることができるような支援をしています。

### インターンシップ

就職のことを考えたとき、「自分の希望する職種が決まらない」「日本で働くか迷っている」「自分の今までの努力がどれくらい日本で通用するのか試してみたい」などいろいろな考えがあるでしょう。留学生が実際に日本企業で働き、経験し、自分の力を確認する場として、いろいろなインターンシップ制度を紹介しています。

#### 【主なインターンシップ制度】

- 横浜商工会議所主催 横浜インターンシップ制度
- フェリス女学院大学主催 キャリア実習（短期・長期インターンシップ）

インターンシップはアルバイトではありませんので、企業や団体からの賃金は支給されません。留学生の皆さんが日本で就業体験に挑戦できる機会です。ぜひ利用してください。

### 講座

就職課主催の各種講座・講演会に留学生の皆さんも参加することで、日本人同様の採用枠にも確実に対応できる力を身につけられます。

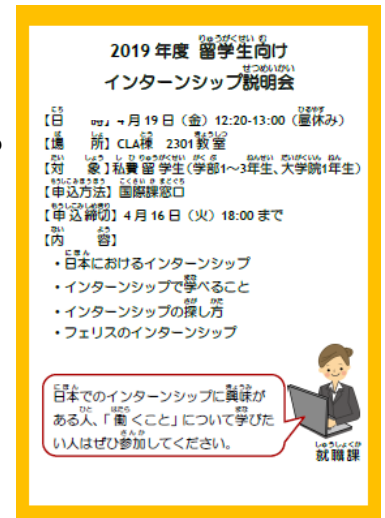
就職課と国際課のスタッフが連携し、皆さんの大きな成果につながる支援を行います。

#### 【就職準備】

就職活動の概要、履歴書やエントリーシートの作成、自己分析等  
※履歴書やエントリーシートの添削は、随時受け付けます。

#### 【企業見学会】

企業や工場に行き、日本企業の現場を見学して見聞を広めます。



2019年度 留学生向け  
インターンシップ説明会

【日時】4月19日（金）12:20-13:00（昼休み）  
【場所】CLA棟 2304教室  
【対象】私費留学生（学部1～3年生、大学院1年生）  
【申込方法】国際課窓口  
【申込締切】4月16日（火）18:00まで  
【内容】

- 日本におけるインターンシップ
- インターンシップで学べること
- インターンシップの探し方
- フェリスのインターンシップ

日本でのインターンシップに興味がある人、「働くこと」について学びたい人はぜひ参加してください。

### <最近の私費留学生の主な就職先>

- 【旅行業】 (株)HIS 【広告】 ザ・トップ・オブ・マウンテン(有)
- 【製造業】 富士ゼロックス(株)、フォスター電機(株)、入船鋼材(株)、祖峰企画(株)
- 【IT】 日立ソフトシステムデザイン(株)、日立ハイシステムズ21 (SE採用)、Apple Japan合同会社、(株)ブルーボンジャパン等
- 【飲食】 ハングリーパンダ 【販売】 (株)クラウンジュエル
- 【物流】 (株)HTNS Japan、日本埠頭倉庫(株)
- 【アパレル】 ルイ・ヴィトン・ジャパンカンパニー、(株)ロンリバイス、(株)青山商事等
- 【メディア】 Side B クリエーションズ
- 【教育】 フェリス女学院大学副手
- 【海外】 水医療科技術(中国)有限公司、海南大学講師、サラマンカ大学講師



## 5. 交流

留学生のみなさんが充実した大学生活を送れるように、色々な交流の機会を用意しています。

### 留学生会

留学生と日本人学生との交流を目的として、公認団体「留学生会」がイベントを企画、実施しています。主な活動には、留学生歓迎会や名所散策、和菓子作りや藍染め体験、七夕や花火大会見物、大学祭参加などがあります。留学生は全員、この留学生会の会員となります。

### メンター制度

履修登録など、大学での手続きは日本人学生でも初めのうちは難しいものです。そこで入学してから1年間は、留学生1人につき1人のメンターが担当し、学生生活をサポートします。メンターはフェリスの先輩（日本人学生）です。留学生と毎週会って一緒に食事をしたり、手続きについて相談に乗ったり、担当の部署（窓口）や詳しい人に繋いだりしてくれます。

### ジャパNSTAディーツアー

1998年から続くフェリス独自の研修旅行です。留学生と日本人学生が広島を訪れ、現地の学生とともに平和について意見交換し、交流を深めます。また、岡山では日本文化も体験します。留学生には大学からの補助があるため、半額程度で参加することができます。

**宿舎「国際学生交流会館」** ※保証人不要です、室料の一部を大学が補助します。

大学の女子寮に優先的に入居できます。日本人学生混在型の宿舎です。

- 最寄駅 : 湘南台駅（相鉄線、小田急江ノ島線、横浜市営地下鉄）
- 所在地 : 藤沢市湘南台（大学までの所要時間は、電車と徒歩で約25分）
- 施設 : 部屋は個室ですが、トイレ・浴室は、共有です。この他にプライベートシャワー室あり。
- 食事 : 月～土曜日は、食事サービス（朝食・夕食）があります。
- 寮費 : 約5万円（大学補助後の金額です。食事代、電気料金、通信設備費を含みます。）

⇒詳細は、国際課にお問い合わせ  
주세요。



ジャパNSTAディーツアー



振袖着付け体験

# 私費留学生サポート 別冊

## 学生納付金

### 1. 授業料等減免制度

本学では、私費留学生の経済的負担を軽減し、学習に集中できるよう支援することを目的として、授業料や施設設備費を減免する制度を用意しています。

- (1) 条件
- ①在留資格が「留学」の者。入学までに「留学」に変更できる者を含みます。
  - ②主たる家計支持者の年収が600万円未満であること。

\*大学院については、「家族滞在」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」のいずれかの方も対象となります。

### (2) 減免額

学年	成績による種別	自宅外通学者 (父母等保証人と現住所が異なる人)	自宅通学者 (父母等保証人と現住所が同じ人)
入学時 (入学年度)	1種	授業料 50%減免 施設設備費 50%減免	授業料 50%減免 施設設備費 30%減免
入学翌年度以降	1種	授業料 50%減免 施設設備費 50%減免	授業料 50%減免 施設設備費 30%減免
	2種	授業料 30%減免 施設設備費 50%減免	授業料 30%減免 施設設備費 30%減免

### (3) 申請方法

減免を希望する場合は、申請書類を大学に持参、または郵送にて提出のうえ、書類審査・選考面接を受けなければなりません。

#### ①面接の申込方法

希望者は定められた期間内に選考面接予約フォーム（Googleフォーム）から面接日時を予約してください。

#### ②申請書類（所定書式は留学生入試当日にお渡します。）

- 1) 授業料等減免申請書【所定書式】
- 2) 誓約書【所定書式】
- 3) 主たる家計支持者の前年度の収入を証明する書類（日本語以外の言語表記のものは日本語訳を添付）
- 4) 在留カードのコピー

#### ③選考結果

申請書類の審査及び面接による選考の上、減免採用者を決定します。

結果は面接日当日、または翌日に国際課から通知されます。

採用者は、決定した入学手続時納付総額を期限までに納入してください。

### （注意事項）

- ・期限までに、納入手続が行われないと、入学の意思がないものとみなし、入学を許可しません。
- ・入学翌年度以降は、学業成績及び主たる家計支持者の年収に基づき、申請書類及び面接による選考の上、採用を決定します。

## 2. 学生納付金一覧

(2020年度以降入学者)

- ① 学部1年次生
- ② 2年次編入学生
- ③ 3年次編入学生
- ④ 大学院博士前期・修士課程 1年次生（本学卒業業者）
- ⑤ 大学院博士前期・修士課程 1年次生（本学卒業以外の者）
- ⑥ 大学院博士後期課程 1年次生（本学大学院修了者）
- ⑦ 大学院博士後期課程 1年次生（本学大学院修了以外の者）



1

## 学部 1 年次生

(単位：円)

## 〈文学部・国際交流学部〉

	通常 (A)	自宅外通学者 (授業料50%、施設設備費50%減免)		自宅通学者 (授業料50%、施設設備費30%減免)	
		減免額 (B)	減免後納付額 (A-B)	減免額 (C)	減免後納付額 (A-C)
入学金 (入学手続き時のみ)	200,000		200,000		200,000
学納金	基本授業料	412,500	206,250	206,250	206,250
	施設設備費	142,500	71,250	42,750	99,750
	小計	555,000		277,500	306,000
その他諸経費	学友会費 (年額)	3,000		3,000	3,000
	奨学会費 (年額)	5,000		5,000	5,000
	学生会費 (4年分)	10,000		10,000	10,000
	学生教育研究災害傷害保険料 (4年分)	3,300		3,300	3,300
小計	21,300		21,300	21,300	
入学手続き時納付総額	776,300		498,800		527,300
学納金	基本授業料	412,500	* 206,250	* 206,250	206,250
	施設設備費	142,500	71,250	71,250	42,750
	後期納付総額	555,000		277,500	306,000
〈参考〉1年次納付総額	1,331,300		776,300		833,300

## 〈音楽学部〉

	通常 (A)	自宅外通学者 (授業料50%、施設設備費50%減免)		自宅通学者 (授業料50%、施設設備費30%減免)	
		減免額 (B)	減免後納付額 (A-B)	減免額 (C)	減免後納付額 (A-C)
入学金 (入学手続き時のみ)	200,000		200,000		200,000
学納金	基本授業料	432,500	216,250	216,250	216,250
	施設設備費	220,800	110,400	66,240	154,560
	小計	653,300		326,650	370,810
その他諸経費	学友会費 (年額)	3,000		3,000	3,000
	奨学会費 (年額)	5,000		5,000	5,000
	学生会費 (4年分)	20,000		20,000	20,000
	学生教育研究災害傷害保険料 (4年分)	3,300		3,300	3,300
小計	31,300		31,300	31,300	
入学手続き時納付総額	884,600		557,950		602,110
学納金	基本授業料	432,500	* 216,250	* 216,250	216,250
	施設設備費	220,700	110,350	110,350	66,210
	後期納付総額	653,200		326,600	370,740
〈参考〉1年次納付総額	1,537,800		884,550		972,850

音楽学部開講のパフォーミング・アーツ科目を履修する場合は、下記の実技料を別途納入する必要があります。  
 なお、実技料は減免対象にはなりません。

	科 目 名	時間数	実技料
個人	PA個人実技15	週15分×15回	50,000円
	PA個人実技30	週30分×15回	10,000円
	PA個人実技45	週45分×15回	150,000円
グループ	PA(バレエ、ダンス、ピアノデュオ、アンサンブル、室内楽、オペラ、ミュージカル、キーボード・インプロヴィゼーション、キリスト教音楽、ミュージック・テクノロジー、教職実技)	週90分×15回	30,000円
		週180分×15回	60,000円
		週270分×15回	90,000円

### 【備 考】

- ① 入学金は、理由の如何を問わず返還しません。
- ② 1年次後期(10月～3月)以降の納付金は、預金口座からの口座自動振替による納入を原則としています。  
(口座振替手数料は本人負担)
- ③ 文学部・国際交流学部においては、在学期間中にフェリス女学院大学同窓会りてらの終身会費30,000円を別途徴収します。  
音楽学部においては、在学期間中にフェリス女学院大学音楽学部同窓会Fグループの終身会費50,000円を別途徴収します。
- ④ 在学中、社会経済事情に応じて、学生納付金の額が変動することがありますのでご了承ください。
- ⑤ 1年次後期に「2種」での採用となった場合、減免額(表中の\*)が変わります。

# 2 年次編入学生

(単位：円)

## 〈文学部日本語日本文学科、国際交流学部〉

	通常 (A)	自宅外通学者 (授業料50%、施設設備費50%減免)		自宅通学者 (授業料50%、施設設備費30%減免)	
		減免額 (B)	減免後納付額 (A-B)	減免額 (C)	減免後納付額 (A-C)
入学金 (入学手続時のみ)	200,000		200,000		200,000
学納金	基本授業料	412,500	206,250	206,250	206,250
	施設設備費	142,500	71,250	71,250	42,750
	小計	555,000		277,500	306,000
その他諸経費	学友会費 (年額)	3,000	3,000	3,000	3,000
	奨学会費 (年額)	5,000	5,000	5,000	5,000
	学会費 (3年分)	7,500	7,500	7,500	7,500
	学生教育研究災害傷害保険料 (3年分)	2,600	2,600	2,600	2,600
小計	18,100		18,100	18,100	
入学手続時納付総額	773,100		495,600		524,100
学納金	基本授業料	412,500	*206,250	206,250	*206,250
	施設設備費	142,500	71,250	71,250	42,750
	後期納付総額	555,000		277,500	306,000
〈参考〉2年次納付総額	1,328,100		773,100		830,100

## 〈音楽学部音楽芸術学科〉

	通常 (A)	自宅外通学者 (授業料50%、施設設備費50%を減免)		自宅通学者 (授業料50%、施設設備費30%を減免)	
		減免額 (B)	減免後納付額 (A-B)	減免額 (C)	減免後納付額 (A-C)
入学金 (入学手続時のみ)	200,000		200,000		200,000
学納金	基本授業料	432,500	216,250	216,250	216,250
	施設設備費	220,800	110,400	110,400	66,240
	小計	653,300		326,650	370,810
その他諸経費	学友会費 (年額)	3,000	3,000	3,000	3,000
	奨学会費 (年額)	5,000	5,000	5,000	5,000
	学会費 (3年分)	15,000	15,000	15,000	15,000
	学生教育研究災害傷害保険料 (3年分)	2,600	2,600	2,600	2,600
小計	25,600		25,600	25,600	
入学手続時納付総額	878,900		552,250		596,410
学納金	基本授業料	432,500	*216,250	216,250	*216,250
	施設設備費	220,700	110,350	110,350	66,210
	後期納付総額	653,200		326,600	370,740
〈参考〉2年次納付総額	1,532,100		878,850		967,150

音楽学部開講のパフォーミング・アーツ科目を履修する場合は、下記の実技料を別途納入する必要があります。  
 なお、実技料は減免対象にはなりません。

	科 目 名	時間数	実技料
個人	PA個人実技15	週15分×15回	50,000円
	PA個人実技30	週30分×15回	10,000円
	PA個人実技45	週45分×15回	150,000円
グループ	PA(バレエ、ダンス、ピアノデュオ、アンサンブル、室内楽、オペラ、ミュージカル、キーボード・インプロヴィゼーション、キリスト教音楽、ミュージック・テクノロジー、教職実技)	週90分×15回	30,000円
		週180分×15回	60,000円
		週270分×15回	90,000円

**【備考】**

- ① 入学金は、理由の如何を問わず返還しません。
- ② 後期（10月～3月）以降の納付金は、預金口座からの口座自動振替による納入を原則としています。  
 （口座振替手数料は本人負担）
- ③ 文学部・国際交流学部においては、在学期間中にフェリス女学院大学同窓会りてらの終身会費30,000円を別途徴収します。  
 音楽学部においては、在学期間中にフェリス女学院大学音楽学部同窓会Fグループの終身会費50,000円を別途徴収します。
- ④ 在学中、社会経済事情に応じて、学生納付金の額が変動することがありますのでご了承ください。
- ⑤ 入学年度後期に「2種」での採用となった場合、減免額(表中の\*)が変わります。



(単位：円)

〈文学部英語英米文学科・コミュニケーション学科、国際交流学部〉

	通常 (A)	自宅外通学者 (授業料50%、施設設備費50%減免)		自宅通学者 (授業料50%、施設設備費30%減免)	
		減免額 (B)	減免後納付額 (A-B)	減免額 (C)	減免後納付額 (A-C)
入学金 (入学手続時のみ)	200,000		200,000		200,000
学納金	基本授業料	206,250	206,250	206,250	206,250
	施設設備費	71,250	71,250	42,750	99,750
	小計	555,000	277,500	306,000	306,000
その他諸経費	学友会費 (年額)		3,000		3,000
	奨学会費 (年額)		5,000		5,000
	学会費 (2年分)		5,000		5,000
	学生教育研究災害傷害保険料 (2年分)	1,750	1,750	1,750	1,750
小計	14,750	14,750	14,750	14,750	
入学手続時納付総額	769,750		492,250		520,750
学納金	基本授業料	*206,250	206,250	*206,250	206,250
	施設設備費	71,250	71,250	42,750	99,750
	後期納付総額	555,000	277,500	306,000	306,000
〈参考〉3年次納付総額	1,324,750		769,750		826,750

〈音楽学部音楽芸術学科〉

	通常 (A)	自宅外通学者 (授業料50%、施設設備費50%減免)		自宅通学者 (授業料50%、施設設備費30%減免)	
		減免額 (B)	減免後納付額 (A-B)	減免額 (C)	減免後納付額 (A-C)
入学金 (入学手続時のみ)	200,000		200,000		200,000
学納金	基本授業料	216,250	216,250	216,250	216,250
	施設設備費	110,400	110,400	66,240	154,560
	小計	653,300	326,650	370,810	370,810
その他諸経費	学友会費 (年額)		3,000		3,000
	奨学会費 (年額)		5,000		5,000
	学会費 (2年分)	10,000	10,000	10,000	10,000
	学生教育研究災害傷害保険料 (2年分)	1,750	1,750	1,750	1,750
小計	19,750	19,750	19,750	19,750	
入学手続時納付総額	873,050		546,400		590,560
学納金	基本授業料	*216,250	216,250	*216,250	216,250
	施設設備費	110,350	110,350	66,210	154,490
	後期納付総額	653,200	326,600	370,740	370,740
〈参考〉3年次納付総額	1,526,250		873,000		961,300

音楽学部開講のパフォーミング・アーツ科目を履修する場合は、下記の実技料を別途納入する必要があります。  
 なお、実技料は減免対象にはなりません。

	科 目 名	時間数	実技料
個人	PA個人実技15	週15分×15回	50,000円
	PA個人実技30	週30分×15回	10,000円
	PA個人実技45	週45分×15回	150,000円
グループ	PA(バレエ、ダンス、ピアノデュオ、アンサンブル、室内楽、オペラ、ミュージカル、キーボード・インプロヴィゼーション、キリスト教音楽、ミュージック・テクノロジー、教職実技)	週90分×15回	30,000円
		週180分×15回	60,000円
		週270分×15回	90,000円

### 【備 考】

- ① 入学金は、理由の如何を問わず返還しません。
- ② 後期（10月～3月）以降の納付金は、預金口座からの口座自動振替による納入を原則としています。  
 （口座振替手数料は本人負担）
- ③ 文学部・国際交流学部においては、在学期間中にフェリス女学院大学同窓会りてらの終身会費30,000円を別途徴収します。  
 音楽学部においては、在学期間中にフェリス女学院大学音楽学部同窓会Fグループの終身会費50,000円を別途徴収します。
- ④ 在学中、社会経済事情に応じて、学生納付金の額が変動することがありますのでご了承ください。
- ⑤ 入学年度後期に「2種」での採用となった場合、減免額（表中の\*）が変わります。

(単位：円)

## 〈人文科学研究科・国際交流研究科〉

		通常 (A)	自宅外通学者 (授業料50%、施設設備費50%減免)		自宅通学者 (授業料50%、施設設備費30%減免)	
			減免額 (B)	減免後納付額 (A-B)	減免額 (C)	減免後納付額 (A-C)
入学金 (入学手続時のみ)		120,000		120,000		120,000
学納金	基本授業料	260,000	130,000	130,000	130,000	130,000
	施設設備費	100,000	50,000	50,000	30,000	70,000
小計		360,000		180,000		200,000
その他諸経費	学会費 (2年分)	5,000		5,000		5,000
	学生教育研究災害傷害保険料 (2年分)	1,750		1,750		1,750
小計		6,750		6,750		6,750
入学手続時納付総額		486,750		306,750		326,750
学納金	基本授業料	260,000	* 130,000	130,000	* 130,000	130,000
	施設設備費	100,000	50,000	50,000	30,000	70,000
	後期納付総額	360,000		180,000		200,000
〈参考〉1年次納付総額		846,750		486,750		526,750

## 〈音楽研究科音楽芸術専攻〉

		通常 (A)	自宅外通学者 (授業料50%、施設設備費50%減免)		自宅通学者 (授業料50%、施設設備費30%減免)	
			減免額 (B)	減免後納付額 (A-B)	減免額 (C)	減免後納付額 (A-C)
入学金 (入学手続時のみ)		140,000		140,000		140,000
学納金	基本授業料	307,500	153,750	153,750	153,750	153,750
	施設設備費	100,000	50,000	50,000	30,000	70,000
小計		407,500		203,750		223,750
その他諸経費	学会費 (2年分)	10,000		10,000		10,000
	学生教育研究災害傷害保険料 (2年分)	1,750		1,750		1,750
小計		11,750		11,750		11,750
入学手続時納付総額		559,250		355,500		375,500
学納金	基本授業料	307,500	* 153,750	153,750	* 153,750	153,750
	施設設備費	100,000	50,000	50,000	30,000	70,000
	後期納付総額	407,500		203,750		223,750
〈参考〉1年次納付総額		966,750		559,250		599,250

おんがくけんきゅうか えんそうせんこう  
**〈音楽研究科演奏専攻〉**

	通常 (A)	自宅外通学者 (授業料50%、施設設備費50%を減免)		自宅通学者 (授業料50%、施設設備費30%を減免)	
		減免額 (B)	減免後納付額 (A-B)	減免額 (C)	減免後納付額 (A-C)
入学金 (入学手続時のみ)	140,000		140,000		140,000
学納金	基本授業料	228,750	228,750	228,750	228,750
	施設設備費	50,000	50,000	30,000	70,000
	小計	557,500	278,750	298,750	
その他諸経費	学生会費 (2年分)		10,000		10,000
	学生教育研究災害傷害保険料 (2年分)	1,750	1,750	1,750	1,750
	小計	11,750	11,750	11,750	
入学手続時納付総額	709,250		430,500		450,500
学納金	基本授業料	*228,750	228,750	*228,750	228,750
	施設設備費	50,000	50,000	30,000	70,000
	後期納付総額	557,500	278,750	298,750	
〈参考〉1年次納付総額	1,266,750		709,250		749,250

**【備 考】**

音楽研究科の授業料は、実技レッスンの履修に応じ、基本授業料に次の選択PA科目実技料を加えた額とします。

なお、実技料は減免対象にはなりません。

選択PA科目 実技レッスン	1実技レッスンにつき 150,000円
選択PA科目 特別実技レッスン	1実技レッスンにつき 50,000円

なお、演奏専攻の1年次及び2年次前期の基本授業料には選択PA科目1実技レッスン分を含みますが、事情により実技レッスンをまったく履修しなかった場合は減額されます。

**注意事項**

- ① 入学金は、理由の如何を問わず返還しません。
- ② 1年次後期(10月～3月)以降の納付金は、預金口座からの口座自動振替による納入を原則としています。  
(口座振替手数料は本人負担)
- ③ 在学中、社会経済事情に応じて、学生納付金の額が変動することがありますのでご了承ください。
- ④ 1年次後期に「2種」での採用となった場合、減免額(表中の\*)が変わります。



(単位：円)

〈人文科学研究科・国際交流研究科〉

		通常 (A)	自宅外通学者 (授業料50%、施設設備費50%減免)		自宅通学者 (授業料50%、施設設備費30%減免)	
			減免額 (B)	減免後納付額 (A-B)	減免額 (C)	減免後納付額 (A-C)
入学金 (入学手続時のみ)		200,000		200,000		200,000
学納金	基本授業料	260,000	130,000	130,000	130,000	130,000
	施設設備費	150,000	75,000	75,000	45,000	105,000
小計		410,000		205,000		235,000
その他諸経費	学会費 (2年分)	5,000		5,000		5,000
	学生教育研究災害傷害保険料 (2年分)	1,750		1,750		1,750
小計		6,750		6,750		6,750
入学手続時納付総額		616,750		411,750		441,750
学納金	基本授業料	260,000	* 130,000	130,000	* 130,000	130,000
	施設設備費	150,000	75,000	75,000	45,000	105,000
	後期納付総額	410,000		205,000		235,000
〈参考〉1年次納付総額		1,026,750		616,750		676,750

〈音楽研究科音楽芸術専攻〉

		通常 (A)	自宅外通学者 (授業料50%、施設設備費50%減免)		自宅通学者 (授業料50%、施設設備費30%減免)	
			減免額 (B)	減免後納付額 (A-B)	減免額 (C)	減免後納付額 (A-C)
入学金 (入学手続時のみ)		250,000		250,000		250,000
学納金	基本授業料	307,500	153,750	153,750	153,750	153,750
	施設設備費	150,000	75,000	75,000	45,000	105,000
小計		457,500		228,750		258,750
その他諸経費	学会費 (2年分)	10,000		10,000		10,000
	学生教育研究災害傷害保険料 (2年分)	1,750		1,750		1,750
小計		11,750		11,750		11,750
入学手続時納付総額		719,250		490,500		520,500
学納金	基本授業料	307,500	* 153,750	153,750	* 153,750	153,750
	施設設備費	150,000	75,000	75,000	45,000	105,000
	後期納付総額	457,500		228,750		258,750
〈参考〉1年次納付総額		1,176,750		719,250		779,250

おんがくけんきゅうか えんそうせんこう  
**〈音楽研究科演奏専攻〉**

	通常 (A)	自宅外通学者 (授業料50%、施設設備費50%を減免)		自宅通学者 (授業料50%、施設設備費30%を減免)	
		減免額 (B)	減免後納付額 (A-B)	減免額 (C)	減免後納付額 (A-C)
入学金 (入学手続時のみ)	250,000		250,000		250,000
学納金	基本授業料	457,500	228,750	228,750	228,750
	施設設備費	150,000	75,000	75,000	45,000
	小計	607,500		303,750	333,750
その他諸経費	学会費 (2年分)	10,000		10,000	10,000
	学生教育研究災害傷害保険料 (2年分)	1,750		1,750	1,750
	小計	11,750		11,750	11,750
入学手続時納付総額	869,250		565,500		595,500
学納金	基本授業料	457,500	*228,750	228,750	*228,750
	施設設備費	150,000	75,000	75,000	45,000
	後期納付総額	607,500		303,750	333,750
〈参考〉1年次納付総額	1,476,750		869,250		929,250

**【備考】**

- 施設設備費 [通常 (A)] については、2年次に200,000円 (前期100,000円、後期100,000円) の納入となります。
- 音楽研究科の授業料は、実技レッスンの履修に応じ、基本授業料に次の選択PA科目実技料を加えた額とします。  
 なお、実技料は減免対象にはなりません。

選択PA科目 実技レッスン	1実技レッスンにつき 150,000円
選択PA科目 特別実技レッスン	1実技レッスンにつき 50,000円

なお、演奏専攻の1年次及び2年次前期の基本授業料には選択PA科目1実技レッスン分を含みますが、事情により実技レッスンをまったく履修しなかった場合は減額されます。

**注意事項**

- 入学金は、理由の如何を問わず返還しません。
- 1年次後期 (10月～3月) 以降の納付金は、預金口座からの口座自動振替による納入を原則としています。  
(口座振替手数料は本人負担)
- 【人文科学研究科・国際交流研究科】他大学卒業生においては、在学期間中にフェリス女学院大学同窓会りてらの終身会費30,000円を別途徴収します。  
**【音楽研究科】**他大学卒業生においては、在学期間中にフェリス女学院大学音楽学部同窓会Fグループの終身会費30,000円を別途徴収します。
- 在学中、社会経済事情に応じて、学生納付金の額が変動することがありますのでご了承ください。
- 1年次後期に「2種」での採用となった場合、減免額 (表中の\*) が変わります。

(単位：円)

## 〈人文科学研究科・国際交流研究科〉

		通常 (A)	自宅外通学者 (授業料50%、施設設備費50%減免)		自宅通学者 (授業料50%、施設設備費30%減免)	
			減免額 (B)	減免後納付額 (A-B)	減免額 (C)	減免後納付額 (A-C)
入学金 (入学手続時のみ)		0		0		0
学納金	基本授業料	260,000	130,000	130,000	130,000	130,000
	施設設備費	100,000	50,000	50,000	30,000	70,000
小計		360,000		180,000		200,000
その他諸経費	学会費 (3年分)	7,500		7,500		7,500
	学生教育研究災害傷害保険料 (3年分)	2,600		2,600		2,600
小計		10,100		10,100		10,100
入学手続時納付総額		370,100		190,100		210,100
学納金	基本授業料	260,000	* 130,000	130,000	* 130,000	130,000
	施設設備費	100,000	50,000	50,000	30,000	70,000
後期納付総額		360,000		180,000		200,000
〈参考〉1年次納付総額		730,100		370,100		410,100

## 注意事項

- ① 入学金は、理由の如何を問わず返還しません。
- ② 1年次後期 (10月～3月) 以降の納付金は、預金口座からの口座自動振替による納入を原則としています。  
(口座振替手数料は本人負担)
- ③ 在学中、社会経済事情に応じて、学生納付金の額が変動することがありますのでご了承ください。
- ④ 1年次後期に「2種」での採用となった場合、減免額 (表中の\*) が変わります。

7 大学院博士後期課程 1年次生 (本学大学院修了以外の者)

(単位：円)

〈人文科学研究科・国際交流研究科〉

	通常 (A)	自宅外通学者 (授業料50%、施設設備費50%減免)		自宅通学者 (授業料50%、施設設備費30%減免)	
		減免額 (B)	減免後納付額 (A-B)	減免額 (C)	減免後納付額 (A-C)
入学金 (入学手続時のみ)	200,000		200,000		200,000
学納金	基本授業料	260,000	130,000	130,000	130,000
	施設設備費	150,000	75,000	75,000	105,000
	小計	410,000		205,000	235,000
その他諸経費	学会費 (3年分)	7,500		7,500	7,500
	学生教育研究災害傷害保険料 (3年分)	2,600		2,600	2,600
	小計	10,100		10,100	10,100
入学手続時納付総額	620,100		415,100		445,100
学納金	基本授業料	260,000	* 130,000	* 130,000	130,000
	施設設備費	150,000	75,000	75,000	105,000
	後期納付総額	410,000		205,000	235,000
〈参考〉1年次納付総額	1,030,100		620,100		680,100

【備考】施設設備費 [通常 (A)] については、2年次・3年次にそれぞれ200,000円 (前期100,000円、後期100,000円) の納入となります。

注意事項

- ① 入学金は、理由の如何を問わず返還しません。
- ② 1年次後期 (10月～3月) 以降の納付金は、預金口座からの口座自動振替による納入を原則としています。  
(口座振替手数料は本人負担)
- ③ 他大学大学院修了者においては、在学期間中にフェリス女学院大学同窓会りてらの終身会費30,000円を別途徴収します。
- ④ 在学中、社会経済事情に応じて、学生納付金の額が変動することがありますのでご了承ください。
- ⑤ 1年次後期に「2種」での採用となった場合、減免額 (表中の\*) が変わります。



## お問い合わせは下記までご連絡ください

留学生サポートに関するお問い合わせ

こくさいか  
フェリス女学院大学 国際課  
電話 045-812-9129 E-mail kaigai@ferris.ac.jp

入学試験に関するお問い合わせ

にゅうしか  
フェリス女学院大学 入試課  
電話 045-812-9183



FERRIS  
UNIVERSITY



国際センター  
公式Facebook



---

2021年5月発行 第1版

フェリス女学院大学 国際課

〒 245-8650  
神奈川県横浜市泉区緑園4-5-3  
電話 045-812-9129